

# 会議

# 7人

デュアル表示

いつものワークスペースに集めたチームにリモートでの参加者を交えて、コラボレーションを拡張します。



## 製品 ID

## 製品

製品 ID	製品
1 CTS-MX300-K9*	Cisco TelePresence MX300 G2
2 CTS-MX300-K9 に同梱	Cisco MIC20
3 CTS-MX300-K9 に同梱	Cisco TelePresence Touch 10
4 CTS-MON-55-WW **	Samsung 55 インチ コンテンツ画面

\*エンドポイントを発注する場合は、MX300 G2 の壁取付キット CTS-MX300-WMK を選択してください。

\*\*シスコ価格表の使用可能なコンテンツ画面の例



### Cisco MIC20

シスコが設計したこの卓上マイクは、テーブルを中心に人が集まっていたり部屋全体に人が散らばっていたりする状況で 360 度の集音を実現します。



### Cisco TelePresence Touch 10

Cisco TelePresence Touch を使用すると、通話からコンテンツ共有まで、会議を簡単に制御できます。

## Cisco TelePresence MX300 G2

小中規模の多目的会議室でテレプレゼンスをお楽しみください。ビデオ会議を行うときでも、室内プレゼンテーションの画面として使用するときでも、55 インチのディスプレイによって参加者全員が画面を見ることができます。2 台目のディスプレイを追加してビジュアルを向上したり、組み込みの 4 画面分割マルチサイト機能を使用して、さらに多くの地点を 1 つの会議にまとめることができます。

## ベスト プラクティス

システムは、コンテンツ画面の上にちょうど収まるように壁に設置します。システムからテーブルまでの距離は、カメラの視野角 (70°) によって決定されます。この距離にカメラを置くと、すべての参加者を画面に収めることができます。カメラに直射日光が入らないよう、システムは窓に隣接する壁に設置します。7 人全員が適切な視野角を確保できるように、台形のテーブルを設置することをお勧めします (最も幅広い側がシステムに近くなるようにする)。システムよりもやや幅広いテーブルを配置します。

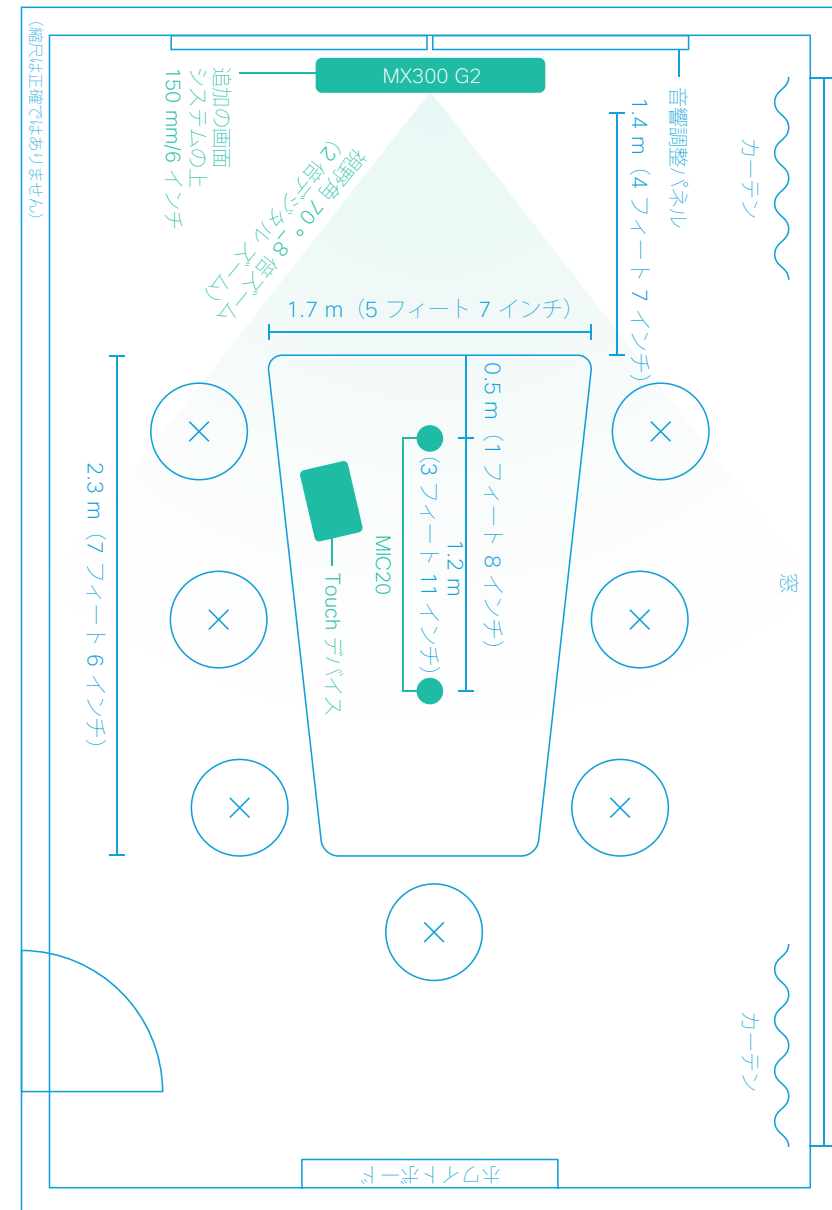
フラッター エコーを避けるために、吸音パネルをシステムの後ろの、窓に隣接する壁に設置します。窓にカーテンを取り付けても、**吸音**の効果があります。床にカーペットを敷いても吸音効果があり、椅子を動かす音も軽減できます。

シスコ無指向性 **マイク** をテーブルの中央に 1.2 m 間隔で置きます。テーブルの 7 人の音声を拾うには、2 台のマイクが必要です。

**ホワイトボード** は、エンドポイントの反対側の壁に設置します。こうすると、ホワイトボードがカメラの全体像に収まり、必要なときに簡便なカメラのプリセット機能を活用してズームすることができます。カメラでは、コンテンツと参加者 (着席および起立の両参加者) を高品質で撮影できます。椅子を回転させると、システムからホワイトボードにフォーカスを移すことができます。

この構成は、参加者同士のやり取り、ホワイトボードの使用、およびコンテンツの共有が行われる動的な会議に最適です。また、狭い部屋にも適しています。上部に配置された **コンテンツ専用画面** は、誰からでも見やすくなっています。下に設置された専用のビデオ画面を見ると、遠隔地にいる参加者がまるで隣に座っているかのような感覚になります。

\* これは、シスコの研究開発チームによって構築およびテストされた物理構成を表したものです。他の構成も可能で、同等の性能が得られます。部屋の寸法は、必ず現地の規則や法律に従う必要があります。Project Workspace の今後のバージョンでは、さらに細部の変更と開発が行われる予定です。



シナリオとセットアップの詳細については、  
次のサイトをご覧ください。

[www.cisco.com/assets/global/JP/sol/tp/workplace\\_app/index.html](http://www.cisco.com/assets/global/JP/sol/tp/workplace_app/index.html)